

## 「主要施策の成果及び基金の運用状況説明書」について

本書は、地方自治法第 233 条第 5 項に基づく令和 4 年度の主要な施策の成果及び同法第 241 条第 5 項に基づく基金の運用状況を説明する書類です。

令和 4 年度の「部局の方針」に重点として掲げた施策及び事務事業、また、各部局が本説明書に記載すべきと選択した事務事業について、事業の実施状況等を掲載しています。

# 評価・検証シート【施策】

【記載例（施策）】

令和 4 年度

【所管部局】保健福祉部

施策名	(第1編第1章) 安心して子どもを産み、育てること	この施策の目的を記載しています。 大牟田市まちづくり総合プランから引用しています。
-----	------------------------------	--

1. 計画(Plan)

意図(どういう状態になることを狙っているのか)

市民が安心して子どもを産むことができ、子育てに幸せや楽しさを実感して暮らせるまちを目指します。

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
子育てをしやすいている市民の割合	目標値 (%)	65.0	65.0	65.0	65.0	現状値を踏まえ65.0%以上を目指す。 [現状値:55.3%(H30年度実績)]
	実績値 (%)	53.5	52.9	48.2		
	達成度 (%)	82.3	81.4	74.2		

施策の達成状況を数値等で測るため、指標を設定し、その目標値と実績値、達成度を年度別に記載しています。

2. 実行(Do) → 構成事業の実施による

3. 検証・評価と今後の方向性(Check & Action)

(1) 指標達成度に対する要因分析(①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証)

- 本施策の成果指標については、前年度の52.9%から4.7ポイント減少し48.2%となり、目標の達成度は74.2%となりました。
- R4年度も新型コロナの感染防止策を行いながら事業やむを得ず内容や規模等を変更して実施した事業も
- 子育て世代包括支援センター（はぐはぐ<sup>おむた</sup>）事業も、妊娠期から子育て期にわたり、

指標の動きに対する要因の分析や、事業実施により得られた成果を記載しています。

関

係機関と連携しながら、専門職が子育て家庭に寄り添った相談・支援を行うことで、切れ目ない支援を推進しています。R5年1月からは、国が創設した出産・子育て応援交付金事業に基づき、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につながる伴走型の相談支援とともに、経済的支援も一体とした事業に取り組んでいます。特に、コロナ禍であり、孤立感や育児不安等も大きいことから、感染拡大防止に努めながら、積極的な支援を行いました。

- R4年度から児童家庭相談室に常勤の社会福祉士を1人配置して体制及び専門性を強化し、「子ども家庭総合支援拠点」として、子どもや家庭からの相談に対応しています。
- 学童保育所（クラブ）については、待機児童の解消に向けた取組みとして、待機が生じている校区の児童を受入れに余裕がある校区の学童保育所（クラブ）に送迎する校区外送迎事業を新たに実施しました。
- 学童保育所（クラブ）の預かり時間について、R5年4月より午後6時までから午後7時までに延長するよう見直しました。
- 保育士等人材バンク事業の実施により、市内の教育・保育施設や学童保育所（クラブ）等の人材確保につながりましたが、就職決定者は前年度より減少しました。

(2) 今後の方向性((1)の要因分析を踏まえ、施策目的達成に向けた方針を示す)

- 子育ての負担感・不安感の軽減や子育て家庭の経済的負担の軽減、仕事と家庭の両立支援などに引き続き取り組み、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。
- 子育て支援の取組みについて、様々な機会や手段を活用し周知を行うとともに、関係機関と連携しながら個々の状況に応じた相談・支援の充実を図ります。
- 学童保育所（クラブ）の待機児童の解消に向けて、これまでの取組みに加え、定員拡大のための施設整備や夏休み期間のみの預かり事業の実施により、受け皿の拡大に取り組めます。
- 保育士等人材バンク事業を継続し、コロナ禍で数年間実施できなかった保育士体験等を通じて潜在保育士等の掘り起こしを行い、施設の人材不足の解消につなげます。

(保健福祉部長 中村 珠美)

4. 施策推進の視点と各構成事業

No.	事業名	所管課	成果指標等			評価結果	
			指標名	単位	R4 目標 R4 実績	結果検証 ・分析	今後の 方向性
[視点1] 結婚や子育ての希望実現に向けた支援							
1	おおむた縁結び支援事業	子ども育成課	イベント参加者数	人	160 186	順調	継続
2	若者のライフデザイン形成支援事業	子ども育成課	イベント参加者数	人	160 186	順調	継続
[視点2] 母と子どもの健康支援							
3	【重点】子育て世代包括支援センター事業	子ども家庭課	事業の実施状況や達成度を総合的に判断し、以下の4段階から評価しています。「大変順調」「順調」「やや遅れ」「遅れ」			順調	継続
4	特定不妊治療費助成事業	子ども家庭課	特定不妊治療費助成件数	件	75 48	やや遅れ	継続
5	妊婦健康診査事業	子ども家庭課	健康診査平均受診回数	回	12.4 12.3	順調	継続
6	妊婦歯科健康診査事業	子ども家庭課	歯科健康診査受診率	%	68.0 84.6	順調	継続
7	子ども医療費助成事業	子ども家庭課	子ども医療費受給1人当たりの平均助成額	円	24,000 24,127	順調	継続
[視点3] 地域における多様な子育て支援							
8	地域子育て支援拠点事業	子ども育成課	つどいの広場登録数	組	750 411	やや遅れ	改善
9	ファミリー・サポート・センター事業	子ども育成課	利用希望者が利用した回数	回	100 9.8	順調	継続
10	子育て短期支援事業	子ども育成課	利用希望者が利用した回数	回	100 7.8	遅れ	改善
11	保育所、幼稚園等における保護者負担軽減	子ども育成課	軽減の実施	-	実施 実施	順調	継続
[視点4] 仕事と家庭が両立できる環境づくり							
12	【重点】放課後児童健全育成事業	子ども育成課	入所できた児童の割合	%	100 98.2	やや遅れ	改善
13	病児・病後児保育事業	子ども育成課	新規登録者数		120		
14	保育所等施設整備費補助事業	子ども育成課	整備数				
15	保育所等業務効率化・安全対策事業	子ども育成課	設備を導入した施設数 延べ数				
16	休日保育事業	子ども育成課	利用希望者の受入率	%	100 100	順調	継続
17	教育・保育施設管理及び運営事業	子ども育成課	入所できた児童の割合	%	100 100	順調	継続
18	保育士等人材バンク事業	子ども育成課	就職決定者数	人	10 3	遅れ	改善
[視点5] 様々な家庭への子育て支援の充実							
19	(再掲)子育て世代包括支援センター事業	子ども家庭課	ハイリスク妊婦への支援プラン作成割合	%	100 100	順調	継続
20	【重点】子ども家庭総合支援拠点事業	子ども家庭課	相談に対する延べ対応件数	件	8,500 11,680	順調	継続

施策の目的を達成するために行う事務事業の一覧を掲載しています。このうち、各部局が重点として掲げた事務事業には【重点】、他の編章に掲載している事業を再度掲げる場合には（再掲）を示し、次頁以降で事業の実施状況等を記載しています。

# 評価・検証シート【事業】

【記載例（構成事業）】

## 5. 構成事業

【決算額】政策経費事業…金額掲載(千円単位)、事務事業経費事業…-

1	事業名	おおむた縁結び支援事業	決算額	687
	事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R元年度から官民連携で取り組み始めた「love おおむた」プロジェクトにより、民間団体が実施する婚活イベントを4回開催しました。</li> </ul>		
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚を希望する方が減っています。</li> </ul>		
	今後の方向性（具体策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加したくなるイベントとなるよう、実施事業者と協議しながら取り組みます。</li> <li>・関係団体等と連携して情報発信を行い、広く参加者が集まるよう取り組みます。</li> </ul>		

当事業に要した費用のうち政策経費分のみを記載しています。ただし、人件費は含んでいません。

2	事業名	若者のライフデザイン形成支援事業	決算額	376
	事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活イベントの開催に合わせてイベント参加者を対象に作法や会話術等に関するセミナーを開催しました。</li> <li>・市民協働部との共催によりライフデザインセミナーを開催しました。</li> </ul>		
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未婚化・晩婚化の要因として、若年世代の結婚・子育て等に対する意識が十分でないことが考えられます。このため、若い世代が結婚・出産・子育てといったライフイベントについて積極的に考える意識を育むことが必要です。</li> </ul>		
	今後の方向性（具体策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もおおむた縁結び支援事業と一体的に、婚活イベントの開催に合わせてセミナーを開催します。</li> </ul>		

事業実施において生じた問題点や課題を記載しています。

3	事業名	【重点】子育て世代包括支援センター事業<<6. 重点事業 参照>>		
---	-----	-----------------------------------	--	--

4	事業名	特定不妊治療費助成事業	決算額	2,319
	事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高額な医療費がかかる不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、福岡県で実施している特定不妊治療費助成決定夫婦に対して、市の助成を上乘せしました。</li> <li>・県の交付決定後6か月以内が申請期間であるため、R4年度の本市の要件に該当する夫婦（R3年度及びR4年度の該当者）を75件と見込みましたが、実際の申請は48件となり、対象者全てに助成を行いました。</li> </ul>		
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度より生殖補助医療の保険適用となりましたが、県の助成事業は年度をまたぐ一回の治療について経過措置が行われたため、県の助成決定を受け市へ申請をされる分について、現行の助成を確実に円滑に行う必要があります。</li> </ul>		
	今後の方向性（具体策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経過措置期間の円滑な助成に取り組みます。</li> <li>・保険適用後の助成については、県や他市町の状況を注視していきます。</li> </ul>		

次年度以降の方向性について、問題点及び課題を踏まえた具体的な改善策について記載しています。

# 評価・検証シート【事業】

【記載例（重点事業）】

## 6. 重点事業

事業名		子育て世代包括支援センター事業				
指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
ハイリスク妊婦への支援プラン作成割合	目標値(%)	100	100	100	100	全てのハイリスク妊婦に対し、支援プランを作成し、支援していくことを目指します。
	実績値(%)	100	100	100		
	達成度(%)	100	100	100		
<b>事業の実施状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期から子育て期にわたり、専門職が個々の状況に合わせて各種の</li> <li>・特に、新型コロナの影響により、孤立感や子育て困難感も増している関係課や他の行政機関、医療機関等と連携し、継続した支援を行いました。</li> <li>・R5年1月から、国が創設した出産・子育て応援交付金事業に基づき、妊娠期から出産・子育てまで一貫して多様な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体</li> </ul>						
<b>決算</b> 決算額 21,324 千円 （次年度への繰越 千円）		国	県	起債	その他	一般財源
		10,116	3,727			7,442
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者の個々の状況に応じた相談・支援を行うために、関係機関との情報共有や連携のためのネットワークを強化する必要があります。</li> </ul>						
<b>今後の方向性（具体策）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査の結果や関係機関等との連携により、妊産婦・乳幼児の実情を継続的に把握し、個々に応じた情報提供や指導・助言等の支援を行います。</li> </ul>						

事業の達成状況を数値等で測るため、指標を設定し、その目標値と実績値、達成度を年度別に記載しています。

当事業に要した費用を記載しています。ただし、人件費は含んでいません。

事業実施において生じた問題点や課題を記載しています。

次年度以降の方向性について、問題点及び課題を踏まえた具体的な改善策について記載しています。

